



## 日本初、不登校生のための「平日おでかけポータルサイト」を学生が開発

家にも学校にも行けない子どもたちが、安心して行ける第三の居場所へつながる新サービス

叡啓大学（学長：有信睦弘、広島市中区）4年生成毛侑瑠樺さんは、本学の集大成科目である卒業プロジェクトとして、日本初となる「不登校生向け・平日おでかけポータルサイト」の開発に取り組んでいます。このプロジェクトは、従来の不登校支援の枠を超え、一般開放施設や公共スペースを可視化し、不登校の子どもたちやご家族が平日に孤立せず、情報や居場所にアクセスできるようにすることを目的としています。

成毛さんは、「不登校の子どもたちが平日に負い目や罪悪感を抱かずに過ごせる環境をどのようにつくるか」という問い合わせを起点に、当事者や支援者への調査を重ねてきました。その結果、外出に伴う不安や周囲の視線への抵抗感といった心理的な負荷に加え、不登校の子どもたちやご家族が、平日に行ける場所やその情報がほとんどないことが課題であると分かりました。

こうした課題をふまえ、成毛さんは、「子どもたちが外に出たいと思ったとき、身近に出かけられる場所があることが重要だ」という考え方のもと、情報の整理方法や伝え方を検討し、調査・分析・検証を行いながらサービスの具体化を進めてきました。本プロジェクトは、研究成果を社会の課題解決につなげる実践的な卒業プロジェクト研究として進めています。

現在は、2026年3月のサイト公開に向け、NPO法人「教育の環」と協働しながら、98箇所の掲載先の拡大や機能改善を進めています。また、2025年12月31日までクラウドファンディングを実施しており、寄せられた声を反映しながら開発を続けています。

学生自身の経験と研究結果に基づき、「不登校でも社会とつながれる選択肢」を具体的な形にしようとしている点が、本プロジェクトの最大の特長です。本件につきまして、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

### 1 「不登校生向け・平日おでかけポータルサイト」について

本サイトは、不登校の子どもが「行こうと思ったとき」に安心して足を運べる場所を探せるサービスです。場所の雰囲気や予約の要否、人目の気になりにくさなど外出判断に必要な情報を整理し、支援施設に限らず大学・企業・図書館・オンラインなど幅広い選択肢を紹介します。

### 2 今後の予定

2025年12月31日まで	クラウドファンディング実施 <a href="https://for-good.net/project/1002624">https://for-good.net/project/1002624</a> おでかけ先収集、ポータルサイトのトンマナを検討
2026年1月～3月	お出かけ先への取材、サイトを作成
2026年2月23日	卒業プロジェクト研究成果として発表
2026年3月	サイト公開予定（卒業研究成果として発表）

取材をご希望の方は、お電話又はメールでご連絡ください。

叡啓大学広報担当（日浦・松本）

TEL:080-9208-0466

メール:publicrelations@eikei.ac.jp